

1 教育目標

(1) 基本目標

国、県、市の方針や地域の実態を踏まえるとともに、「人間尊重の教育」を基盤として、心身ともに健康で、自主的・自律的に行動し、豊かな創造力と正しい判断力を身に付け、社会の変化に主体的に対応し、国際人として世界に貢献できる日本人の育成を目指す。

生徒の指標（生徒の信条）

強く 心身ともに健康な生徒	賢く 創造性に富む生徒	美しく 心情豊かな生徒
-------------------------	-----------------------	-----------------------

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 心身ともに健康で勤労を尊ぶ生徒
- 基盤となる学力を身に付け、自ら学ぶ意欲をもつ生徒
- 礼儀正しく、責任を重んじ、心情豊かな生徒
- 主体的で創造性に富み、個性豊かな生徒
- 文化や伝統を尊重し、国際社会に貢献できる生徒

2 学校経営の理念

心豊かでたくましく生きる人づくりを推進するための指針として策定された「宮っ子未来ビジョン」を踏まえ、21世紀を生きる生徒に必要な能力や態度を育むため、教育内容の充実、学校運営の改善、教育環境の整備、新たな学校教育システムの構築に努め、新しい時代にふさわしい学校教育を進めます。

3 学校経営の方針

本校のよき伝統を継承し、さらに将来を展望しながら教育目標の具現化を図るため、2学期制のよさや外部評価を生かし、全校体制で学校経営にあたる。

- (1) 教育課程の円滑な実施を図り、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成に努める。
- (2) 学習・生活の両面において、基礎的・基本的な内容の指導の徹底を図り、生徒一人一人の能力・特性の伸長に努める。
- (3) 教師と生徒との人間関係を大切にし、生徒一人一人の理解を深め、個に応じた適切な指導ができるよう努める。
- (4) 快適な学習環境づくりに努めるとともに、よき伝統と創意を生かしながら、特色ある学校づくりを目指す。教育活動の関連を図り見通しをもった具体計画のもと、特色ある学校づくりを推進するとともに、体験活動ジョインプログラム推進校としての実践を進め、社会性の育成に努める。
- (5) 保護者や地域、関係機関・団体等との連携を密にし、相互の信頼関係に立って本校の教育にあたりるとともに、開かれた学校づくりに努める。

本校の目指す教職員像

- 1 公教育に従事する者としての自覚と使命感にあふれる教職員
- 2 生徒の個性を尊重し、共に伸びていく教職員
- 3 厳しく、温かく、公平で、信頼される教職員
- 4 常に研修と修養に励み、健康で魅力あふれる教職員
- 5 目標達成への意欲と創造性に富む教職員

4 今年度の重点目標

(1) 学校運営

「地域への愛着を深め、地域に貢献する生徒の育成」

(2) 児童生徒指導

「思いやりの心を持ち、きまりを守る生徒の育成」

～規範意識を持ち、困っている人には積極的に声をかけよう～

(3) 健康・体力

「健康を適切に管理する生活習慣の形成」～早寝・早起き・朝ごはん～

(4) 学習指導

「一人一人の学習意欲が高まる『わかる授業』の展開と家庭学習の習慣づくり」

5 児童生徒指導、健康・体力、学習指導に関する取組

※ 別添1～3参照

6 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 地域との交流から、思いやりや地域貢献といった社会性の育成を図る。
- ② 地域探索活動を通して、自主的・実践的な態度と問題解決能力を養う。
- ③ 豊かな自然環境とのふれあいから、環境に関する実践的な態度を身に付ける。
- ④ 地域との交流活動や地域貢献活動から、郷土を誇りに思い、愛する心を養う。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には、文頭に◇）

① 道徳、特別活動、総合的な学習の時間の連携と充実

- ・福祉教育、地域貢献の視点から、思いやりの心を育む道徳の授業を実践する。
- ・道徳、特別活動、総合的な学習の時間の連携の強化を図り、体験活動と育てたい社会性を明確にし、生徒の発達段階に応じたカリキュラムの開発を進める。

◇・総合的な学習の時間における「ふるさと学習」での地域探索活動や地域の外部講師による授業「ふるさと講座」の充実（水田耕作学習、大谷石加工体験など）を図る。

- ・活動の事前、事後の適切な指導を工夫し、生徒の意識向上を図る。特に、活動後に、掲示物を作成するなど、まとめの活動を行い活動の振り返りをさせる。

② 生徒会活動の活性化と地域への啓発

ア 地域との交流活動の場の拡大と活動の充実

◇・「城山クリーンアップ」の活動により地域との連携を図り、清掃活動を通して地域貢献をする。また、夏休みに「あったか活動（あったか班（縦割り班）」を実施し、地域交流活動の活性化を図る。

- ・小学校との交流活動の実施（小学生の中学校訪問、中学生の小学校での出前授業）により、小学校と中学校の連携を図る。

イ 特色ある学校づくりについての保護者や地域への啓発

- ・ホームページによる活動の紹介をする。また、地区市民センターなど地域の施設に資料を掲示し、本校の様子を定期的に情報発信する。

③ 環境教育（環境ISO）の推進

◇・「花いっぱい運動」を全校体制で取り組み、本校の緑化活動を推進するとともに、地域施設へのプランターの配布を通して地域貢献にも力を入れて取り組む。

- ・各教科における環境に関する授業の工夫と実践意識を育成する。

○特色ある学校づくりの概要・・・次頁に「特色ある学校づくりに関する取組」

(テーマ) 小中連携で取り組む「豊かな心を育てる地域交流活動」の推進

(目指す生徒像) 地域への愛着を深め、地域に貢献する生徒

(ねらい)

平成5年度から15年間継続してきた 学年縦割り生徒会活動「あったか活動」を核とした地域貢献活動を教育課程に位置づけ、体験と道徳・特活・総合的な学習「ふるさと学習」とを連携させている。夏休みの地域探索学習による地域理解と、郷土への愛着が深まる課題の工夫や、生徒なりの地域貢献の意欲と達成感を味わわせる交流活動を通して、発達段階に応じた「社会性の育成」を目指している。